(様式2-a)

**研究成果展開事業**

**共創の場形成支援プログラム**

**本格型**

**年度実施計画書**

**（2024年度）**

**対象分野：◯◯分野**

**拠点名称：◯◯拠点**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **プロジェクトリーダー** | **氏名** |  |
| **所属機関** |  |

※Wordに記載のフォントサイズは、10.5ポイントとしてください。（フォントの種類は制限しません）

※余白：左右上下に2.0cmずつ

※提出時には、青字による注釈及び例示はすべて削除してから提出してください。

＜実施計画書について＞

1. 本実施計画書は以下の様式で構成されています。

・実施計画書（全体）　　　　　　　　：1\_実施計画書（本格型）

・実施計画書（年度）　　　　　　　　：2-a\_実施計画書（本格型）

・プロジェクト構成図・研究開発予定表：2-b\_実施計画書（本格型）

・資金計画書　　　　　　　　　　　　：3\_実施計画書（本格型）

・プロジェクト参加者リスト　　　　　：4\_実施計画書

・データマネジメントプラン　　　　　：別紙1\_実施計画書

本様式2-aには、当年度分のプロジェクト推進内容を記載してください。資金計画は様式3に記載してください。

２．審査会や拠点面談、サイトビジット等でプログラムオフィサーやアドバイザー等から提案、要望、懸念等が寄せられた場合、それらに対してどのような方針で臨むかが判るように記載してください。

1. 参画機関間で十分協議の上で作成・共有し、合意したものを記載してください。

４．２年度目からは、過年度の実施進捗状況、プログラムオフィサーおよびアドバイザーからの指摘事項等を反映して、必要に応じて全体計画を見直すとともに、当該年度に実施するプロジェクト推進の内容、予算計画等を記載します。記載内容を変更した場合は、変更点がわかるようご記載ください。

５．実施計画書は、プロジェクト推進に当たっての基本となり、評価の基礎資料の一つとなります。

６．実施計画書はプログラムオフィサーの確認および承認後に確定となります。

７．確定後の実施計画書に記載された予算等は、当該年度の委託研究契約書に直接反映しますので、所属機関名や委託研究費配分など、誤りのないようにご留意ください。

８． 実施計画書は、各研究機関とJSTが契約する委託研究の具体的な内容を定めるものです。そのため、委託研究費は本計画書に沿って適切に執行してください（JSTは委託研究費の支出状況の確認に際して、本実施計画書を参照します）。

なお、研究機関は、「研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン（実施基準）（平成１９年２月１５日施行/令和３年２月１日改正文部科学大臣決定）」（その後の改正を含む。）に基づき、研究機関の責任において公的研究費の管理・監査の体制を整備した上で、委託研究費の適正な執行に努める必要があります。

９．委託研究費の執行にあたっては、JSTと委託研究契約を締結する各研究機関の経理・契約等の関係部門に当該実施計画書の内容を事前にお知らせください。具体的には、代表機関は、計画様式3、4を各参画機関の事務担当者にご送付ください。

（なお、プロジェクト内であっても他機関の情報が含まれるため、情報の取扱いにご留意ください。）

１０．年度途中における実施計画の変更・改訂について

**プログラムオフィサーの承認を得ることにより、年度途中における実施計画の変更が可能です**。

実施計画に変更が生じ、実施計画書に修正が生じる場合は、JST担当者に連絡してください。JST担当者を通じてのプログラムオフィサーの確認・承認が必要となります。実施計画書の改訂の方法等は、JSTホームページをご参照ください。https://www.jst.go.jp/pf/platform/download.html

特に実施計画内容の大幅な変更については、JSTと大学等との変更契約の締結が必要となりますのでご留意ください。

「実施計画内容の大幅な変更」に該当する例

* + 研究開発責任者の変更、大学等の参画機関の追加や削減
  + 委託研究費の増減
  + 研究開発の方向性に大幅な変更の必要が生じた場合
  + 高額な機器の購入計画の変更　　　　　　　　　　　　など

改 訂 履 歴

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| No. | 改訂年月日（※） | 対象項目 | 改訂内容 | 備考（本文の修正の有無など） |
| 1 | 202◯年○月○日 |  | 実施計画書の作成 |  |
| 2 | 202○年○月○日 | （例）研究開発課題 | (例)新規研究開発課題の設定に伴い修正 |  |
| 3 |  |  |  |  |
| 4 |  |  |  |  |
| 5 |  |  |  |  |
| 6 |  |  |  |  |
| 7 |  |  |  |  |
| 8 |  |  |  |  |
| 9 |  |  |  |  |

※「改訂年月日」欄：　実施計画の変更日をご記入ください

目次

[１．基本情報 1](#_Toc119418252)

[２．実施計画 3](#_Toc119418253)

[２－１．拠点・プロジェクトの構成図（研究開発内容に係る） 3](#_Toc119418254)

[２－２. 研究開発計画（当年度） 3](#_Toc119418255)

[２－３．産学官共創システム構築の計画（当年度） 5](#_Toc119418256)

[２－４．参画機関の計画（当年度） 6](#_Toc119418257)

[３．資金計画（様式3） 7](#_Toc119418258)

# １．基本情報

|  |  |
| --- | --- |
| **対象分野** | ※対象分野を記してください。  共創分野・地域共創分野・政策重点分野（量子技術、環境エネルギー技術、バイオ） |
| **拠点名称** |  |
| **代表機関名** | ※大学等（1機関）を記入してください。 |
| **拠点の全体管理を担う組織の代表者（令和2年度採択）**  **拠点運営機構の設置責任者（令和3年度以降採択）** |  |
| **プロジェクトリーダー** | ※氏名と役職等を記入してください。 |
| **副プロジェクトリーダー** | ※氏名と役職等を記入してください。代表機関に身分を有していない場合は（予定）と記載してください。  ※（地域共創分野のみ）地方自治体との関係構築における責任者を副PLとする場合は、その旨追記ください。その場合、当該副PLと、拠点運営全体の役割を担うアカデミア/産業界出身の副PLの2名の配置が必要となります。 |
| **プロジェクトリーダー補佐**  **（地域共創分野のみ）** | ※地方自治体との関係構築における責任者の氏名と役職等を記入してください。代表機関に身分を有していない場合は（予定）と記載してください。  ※地方自治体との関係構築における責任者を副PLとし、プロジェクトリーダー補佐を置かない場合は、「該当者なし」と記載してください。 |
| **幹事自治体**  **（地域共創分野のみ）** |  |
| **幹事機関（大学等）**  **（地域共創分野のみ）** | ○○大学、国立研究開発法人○○研究所、○○高等専門学校  ※該当する機関がない場合は、「参画なし」と記載してください。 |
| **幹事機関（大学等を除く）**  **（地域共創分野のみ）** | ○○市、株式会社○○  ※該当する機関がない場合は、「参画なし」と記載してください。 |
| **参画機関**  **（大学等）** | ○○大学、国立研究開発法人○○研究所、○○高等専門学校  ※参画がない場合は、「参画なし」と記載してください。 |
| **参画機関**  **（大学等を除く）** | 株式会社AA、株式会社BB、CC株式会社  ※自治体が参画する場合はこの欄に記載してください。 |
| **実施期間** | 202○年度開始　～　20○○年3月末日　終了予定　　　※最長10年度 |

|  |  |
| --- | --- |
| **拠点ビジョン/地域拠点ビジョン** | ※共創分野・政策重点分野は「拠点ビジョン」を、地域共創分野は「地域拠点ビジョン」を記載してください |
| **概要** | ※研究開発、プロジェクト推進の内容全体がわかるように300字以内でまとめてください。  ※図、表の使用は不可です。 |
| **関連するSDGs** | ・SDG2 飢餓をゼロに  ・SDG7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに  　・・・  ※複数設定いただいて構いません。 |

# ２．実施計画

※　以下、「拠点ビジョン」の記述は、共創分野・政策重点分野においては「拠点ビジョン」、  
地域共創分野においては「地域拠点ビジョン」を指すものとします。

## ２－１．拠点・プロジェクトの構成図（研究開発内容に係る）

※　様式2のパワーポイントファイルに作成した、「拠点・プロジェクトの構成図」を貼り付けてください。

（例示）

タイムライン が含まれている画像

自動的に生成された説明

拠点・プロジェクトの構成図

**２－２. 研究開発計画（当年度）**

**■ 研究開発課題１：○○○○**

**(1) 関連するターゲット：**

ターゲット○：○○○

**(2) 研究開発体制**

|  |  |
| --- | --- |
| **研究開発課題リーダー** | 氏名（○○大学　○○研究科　教授） |
| **参画機関（大学等）** | ○○大学、◯◯研究開発法人◯◯研究所  ※代表機関・幹事機関（地域共創分野のみ）も、本欄に記載ください。 |
| **参画機関（大学等を除く）** | AA（株）、◯◯県  ※幹事機関（地域共創分野のみ）も、本欄に記載ください。 |

※　当年度に担当する参画機関を記載してください。

※　期間中の変更があった場合、その時期を明示してください。

（R7.3まで、あるいはR7.4からといった記載)。

**(3) 実施計画**

※　以下の観点を含めて、当年度の取り組みを詳細に記載してください。

　　・研究テーマと達成すべき定量的目標

・研究開発における技術的課題およびその難易度と課題へのアプローチ、

社会実装に向けた取り組み

・研究開発スケジュール

・研究開発課題の最終目標に対する現状の技術レベル

（これまで研究開発がどこまで達成できているか、どのような製品・サービスがあるか）

* **研究開発課題２：○○○○**

※　研究開発課題の数に応じて項目を追加してください。

## ２－３．産学官共創システム構築の計画（当年度）

※　産学官共創システムとは、代表機関を中核とし、多様なステークホルダーの参画のもと、良質な研究開発成果・知財やデータの創出・活用、事業化・社会実装、ベンチャー創出、人材育成等の「知」、「資金」、「人」の好循環を生み出すマネジメント体制が整備されたシステムです。以下の(i)から(ix)のそれぞれについて、記載してください。

※　本プログラムは「産学官連携による共同研究強化のためのガイドライン」（以下、ガイドラインという。）を踏まえた産学官連携マネジメント改革に取り組むことを要件としています。必ずガイドラインを踏まえた内容としてください。

【https://www.mext.go.jp/a\_menu/kagaku/taiwa/1380912.htm】

「産学官連携による共同研究強化のためのガイドライン【追補版】」

【https://www.mext.go.jp/content/20230329-mxt\_sanchi02-000020147\_01-2.pdf】

※　産学官連携マネジメント改革には、研究領域や学部等を横断した研究者の組織化を行うための取組（知的財産権の積極的活用を前提とした契約、産学官連携が進む人事評価制度、インセンティブとしての給与、スペース、研究費配分への反映等）を期待します。

※運営体制の構築に関わる機関（各研究開発課題に係わらない）があれば、以下の表に記載してください。

|  |  |
| --- | --- |
| **参画機関（大学等）** | ○○大学、◯◯研究開発法人◯◯研究所  ※幹事機関（地域共創分野のみ）も、本欄に記載ください。 |
| **参画機関（大学等を除く）** | AA（株）、◯◯県  ※幹事機関（地域共創分野のみ）も、本欄に記載ください。 |

**(i)　全体運営における場作り**

※　拠点運営に必要な規約等の策定や全ての参画機関が研究進捗の共有・意見交換を行うことのできる場・機会をどのように設定するか、当年度に実施する部分を明示したうえで記載してください。

**(ii)　研究開発企画（拠点ビジョン・ターゲット・研究開発課題の探索・構築）**

※　拠点ビジョンの策定・共有、新たなターゲット・研究開発課題の設定（その繰り返し・更新を継続）や新たな技術シーズの発掘とニーズ・課題とのマッチング、研究開発課題の組成をするための取組について、当年度に実施する部分を明示したうえで記載してください。

**(iii)　産学官連携マネジメント**

※　計画・進捗管理、知財・データの管理・活用、経理・契約管理、代表機関及び参画機関間での調整、持続的な産学官共創システムの形成に向けた取組について、当年度に実施する部分を明示したうえで記載してください。

※　民間企業等が参画することへの価値を提供できる知的財産の取扱い等の方針について記載してください。

**(iv)　研究開発基盤**

※基幹となるサイエンスの創出・育成について記載してください。

※　機器・施設（実証フィールド含む）の整備や運用等の仕組みについて、当年度に実施する部分を明示したうえで記載してください。代表機関及び参画機関の機器・施設を利用・共用する予定があれば、その詳細も記載してください。

※異分野融合、新分野開拓のための取組について記載してください。

**(v)　外部リソース獲得**

※　自立化に向けた資金計画の検討、新たな参画機関の勧誘、共同研究や資金・リソース拠出等に係る民間企業等との交渉、競争的研究費等の獲得活動、拠点の広報活動、大学等発ベンチャー投資への対応など外部リソース獲得の取組について、当年度に実施する部分を明示したうえで記載してください。

※　大学等の民間資金の受け入れにおいて、現在の費用負担状況、及びこれから取り組む具体的な費用負担（教員及び学生等の人件費の算定方法や間接経費を含めた共同研究に必要となる経費の算定方法を含む。）等の方針について記載してください。

**(vi)　出口戦略・社会実装に向けたマネジメント**

※　社会ニーズの把握、社会実装を担う企業との連携・新規参入のコーディネート、実証フィールドや成果の社会実装の場となる地方自治体との連携・新規参入のコーディネート、スタートアップ立上げ支援、知財化・ライセンスアウトの推進、コンソーシアムの形成・運営など、創出される成果の出口戦略、社会実装に向けた方針について、当年度に実施する部分を明示したうえで記載してください。

**(vii)　人材育成**

※　持続的な拠点の維持・発展に向けた、マネジメント人材・研究人材の育成取組について、当年度に実施する部分を明示したうえで記載してください。

※　大学、公的研究機関、民間企業等の組織の壁を越えて、人材が流動化するための方針について記載してください。

※　産学官連携活動に継続的に携わることができる柔軟な人事評価制度を設計するための方針について記載してください。

**(viii)　地域創生・地域活性化（地域共創分野のみ）**

※　学生が当該地域に定着する仕組みの構築や幹事自治体をはじめとする拠点に参画している地方自治体との密な連携活動等、拠点活動を通じた地域創生・地域活性化に向けた取組について記載してください。

**(ix)　その他**

※　上記以外の機能に関する取組について、必要に応じて適宜記載してください。

## ２－４．参画機関の計画（当年度）

※　参画機関毎に作成してください。

※　地域共創分野は幹事機関毎にも作成してください。

※　海外の参画機関についても記載してください。

※　「研究開発の概要」および「「運営体制の構築概要」について、参画機関毎の実施内容を記載してください。

**（１）参画機関（大学等）**

|  |
| --- |
| **■○○大学**  **研究開発責任者**氏　名（所属　部署　役職）  ※　研究開発責任者を含めた各参画機関の参加者一覧は、様式4\_プロジェクト参加者リストに記載  **研究開発課題一覧**  様式1\_実施計画書「２－５－１．研究開発課題一覧」のうち、該当するテーマ又は課題を記載してください。  **研究開発課題１：　○○○○**  **研究開発課題３：　○○○○**  ※　実施しない場合は、「なし」と記載してください。  **研究開発の概要**  当年度に実施する研究開発の概要を記載してください。  ※　実施しない場合は、「なし」と記載してください。  **運営体制の構築概要**  　当年度に実施する運営体制の構築概要を記載してください。  ※　実施しない場合は、「なし」と記載してください。 |
| **■○○大学** |

※　必要に応じて行を追加してください。

**（２）参画機関（大学等を除く）**

|  |
| --- |
| **■◯◯株式会社**  **実施責任者**氏　名（所属　部署　役職）  ※　実施責任者を含めた参加者一覧は、様式4\_プロジェクト参加者リストに記載  **研究開発課題一覧**  様式1\_実施計画書「２－５－１．研究開発課題一覧」のうち、該当するテーマ又は課題を記載してください。  **研究開発課題２：　○○○○**  **研究開発課題４：　○○○○**  ※　実施しない場合は、「なし」と記載してください。  **研究開発の概要**  当年度に実施する研究開発の概要を記載してください。  ※　実施しない場合は、「なし」と記載してください。  **運営体制の構築概要**  　当年度に実施する運営体制の構築概要を記載してください。  ※　実施しない場合は、「なし」と記載してください。 |
| **■◯◯株式会社** |

※　必要に応じて行を追加してください。

**（３）その他**

※　その他各機関での研究開発推進体制の整備計画やアウトリーチ等の計画、また外部リソースの提供で金額に換算できない活動がありましたら記載してください。

# ３．資金計画（様式3）

※　本項目は、様式3\_資金計画のエクセルファイルに記入してください。